

松山空港民営化
利点などを質問

国交委で維新・西岡氏

24日の衆院国土交通
委員会、日本維新の
会の西岡新氏（比例四
国）が、松山空港でも
検討が進んでいる空港
の民営化について質問
した。

西岡氏は松山空港に
ついて「新幹線とも競
合せず、6年ぶりに旅
客数が増加し230万
人になった。経営状態
は比較的良い」と説明。
民営化の利点を尋ねた
のに対し、国交省の担
当者は「今の国管理空
港は滑走路と空港ビル
などの運営が分離して

いるが、民間による空
港運営の一体化を可能
とすることにより、航
空会社を誘致する際な
どの交渉を一元化して
柔軟に行えるようにな
る」と答えた。

大規模災害時の復旧
工事などの費用負担に
ついて、担当者は「国
が設置管理者として責
任を持って実施する。
具体的には民営化する
際に結ぶ契約で業務分
担を明確化する」と述
べた。（多田良介）

平成25年5月25日

愛媛新聞掲載